



2024年2月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2024年4月12日

上場会社名 株式会社ハブ

上場取引所 東

コード番号 3030 URL <https://www.pub-hub.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 剛

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 高見 幸夫

TEL 03-3526-8682

定時株主総会開催予定日 2024年5月29日

配当支払開始予定日

2024年5月30日

有価証券報告書提出予定日 2024年5月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期の業績(2023年3月1日～2024年2月29日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期	9,780	29.5	277		255		270	
2023年2月期	7,550	216.5	541		561		283	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年2月期	21.52		11.4	3.6	2.8
2023年2月期	22.56		11.8	7.5	7.2

(参考) 持分法投資損益 2024年2月期 百万円 2023年2月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期	6,931	2,516	36.3	200.09
2023年2月期	7,376	2,246	30.4	178.58

(参考) 自己資本 2024年2月期 2,516百万円 2023年2月期 2,246百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年2月期	561	348	981	3,760
2023年2月期	641	101	416	4,529

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年2月期		0.00		0.00	0.00	75	27.9	3.2
2025年2月期(予想)		0.00		9.00	9.00		30.6	

3. 2025年2月期の業績予想(2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,500	13.0	240	30.6	210	23.1	170	7.0	13.52
通期	11,100	13.5	460	66.1	420	64.5	370	36.7	29.42

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期	12,830,200 株	2023年2月期	12,830,200 株
期末自己株式数	2024年2月期	252,282 株	2023年2月期	252,260 株
期中平均株式数	2024年2月期	12,577,928 株	2023年2月期	12,577,940 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(持分法損益等)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、2023年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に移行したことを受け、行動制限の緩和が進んだことによる人流の増加とインバウンド消費が復調し、内需主導での社会経済活動が正常化へ向かいました。一方で、長期化する不安定な国際情勢や為替相場の影響により、エネルギー資源・原材料価格・物流費の上昇圧力の高まりは継続しております。外食産業におきましても、消費活動の活発化を受けた人流の改善によるトップラインの回復が全体としては進んでおりますが、マクロ経済動向を受けたあらゆるコスト圧力に加え、人件費においても上昇基調が続いており、難しい経営環境が続いております。

このような見通しが不透明な環境において、当社は昨年度に策定した「創業50年ビジョン(2022-2030)」及び、「中期経営計画(2022-2024)」を、業績の早期回復と更なる発展を目指す指針としております。

「復活」をテーマとする中期経営計画(2022-2024)の2年目にあたる当事業年度においては、当社の最大の特徴であるキャッシュオンデリバリーシステム(C.O.D.)を進化させるべく、年度方針を「C.O.D. 2.0」と決めました。業務のデジタル化及び効率化施策の実験を進めた結果、全店展開を見据えた選定フェーズへ移行しつつあります。また、生産性向上の指標として、「人時売上高6,800円、人時生産性4,700円」を目指しておりましたが、当事業年度の結果においては目標に届かなかったため、次年度を実行のフェーズと位置付け、引き続き生産性向上に取り組んでまいります。

営業施策では、各月において商材・商品及び当社が提供する飲食体験の魅力を発信するキャンペーンを実施しております。第4四半期会計期間におきましては、年末の外食需要を盛り立てるプレミアムメニューを加えた「ディセンバースペシャルキャンペーン」、インフルエンサーとのコラボレーション企画を加えた「デュワーズ12年キャンペーン」等をお客様にお楽しみいただきました。スポーツコンテンツの放映及びIPコンテンツとのコラボレーションイベントにおきましては、MIXI GROUPをはじめとする様々な企業との企画を拡大してまいりました。これら営業施策と共に、メンバーズシステムを活用したマーケティング活動を行い、新規顧客の獲得と既存顧客の継続利用を推進しております。また、毎年恒例で実施の「アプリメンバースタンプラリー」企画は、当事業年度におきましてもご好評をいただき、多くのお客様にご参加いただきました。

一方で、当事業年度のグランドメニュー改定において、商品価値とサービスレベルの維持・向上に加え、人財への十分な投資原資を確保するため、価格改定を実施いたしました。また、東京証券取引所の規則改正に伴い、上場市場をスタンダード市場へ変更しております。これらにより、コロナ禍において毀損された業績を完全回復させることに経営資源を集中し、収益構造の改善を図ることで持続的な成長と中長期的な企業価値向上を目指してまいります。

当事業年度における新規出店につきましては、7月に「HUB桜木町クロスゲート店」、9月に「HUB羽田空港第2ターミナル店」、1月に「HUB COCONO SUSUKINO店」の3店舗を出店し、店舗数は当事業年度末時点で104店舗となりました。

以上の結果、当事業年度においては、売上高は9,780百万円(前年同期比29.5%増)、営業利益は277百万円(前年同期比818百万円の増益)、経常利益は255百万円(前年同期比817百万円の増益)、当期純利益は270百万円(前年同期比554百万円の増益)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における総資産は、前事業年度末に比べて445百万円減少し、6,931百万円となりました。

流動資産は前事業年度末に比べて661百万円減少し、4,280百万円となりました。これは主に現金及び預金が減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べて216百万円増加し、2,651百万円となりました。これは主に繰延税金資産及び保険積立金が増加したことによるものであります。

負債は前事業年度末に比べて715百万円減少し、4,414百万円となりました。これは主に賞与引当金が増加したものの短期借入金、長期借入金及び未払消費税等が減少したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べて270百万円増加し、2,516百万円となりました。これは主に当期純利益270百万円を計上したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べて768百万円減少し、3,760百万円となりました。それぞれの詳細は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、561百万円(前年同期比80百万円の減少)となりました。

主な要因は、税引前当期純利益を181百万円計上したものの、助成金の受取額494百万円及び雇用調整助成金の受取額170百万円が無くなったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、348百万円(前年同期比247百万円の増加)となりました。

主な要因は有形固定資産の取得による支出が209百万円及び保険積立金の積立による支出が38百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、981百万円(前年同期比565百万円の増加)となりました。

主な要因は、短期借入れによる収入が79百万円あったものの、短期借入金の返済による支出が731百万円あったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に移行し、内需主導での社会経済活動が正常化へ向かう一方で、エネルギー資源・原材料価格・物流費の上昇圧力の高まりは長期化しております。外食産業におきましても、消費活動の活発化を受けたトップラインの回復が全体としては進んでおりますが、あらゆるコスト圧力の増加に加え、人件費においても上昇基調が続いております。

このような状況の下、「復活」をテーマとする中期経営計画(2022-2024)の最終年度にあたる2024年度においては、「完全復活(人時売上高6,800円・人時生産性4,800円)」を年度方針といたしました。次事業年度において英国風PUB事業の「完全復活」を果たし、更なる展開・発展を可能とする収益構造の実現を目指してまいります。

次事業年度の業績につきましては、売上高11,100百万円、営業利益460百万円、経常利益420百万円、当期純利益370百万円と予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を確保するため、会計基準につきましては、日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当事業年度 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,529,233	3,760,239
売掛金	110,027	180,852
原材料及び貯蔵品	73,896	78,415
前払費用	147,598	153,955
未収入金	53,173	50,626
その他	28,544	56,643
流動資産合計	4,942,473	4,280,732
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,538,368	4,715,756
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,476,191	△3,678,325
建物(純額)	1,062,177	1,037,430
車両運搬具	3,237	3,237
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,796	△2,276
車両運搬具(純額)	1,440	960
工具、器具及び備品	988,455	1,015,258
減価償却累計額及び減損損失累計額	△943,881	△957,717
工具、器具及び備品(純額)	44,573	57,541
リース資産	107,289	114,801
減価償却累計額及び減損損失累計額	△97,120	△83,204
リース資産(純額)	10,169	31,596
建設仮勘定	12,449	16,637
有形固定資産合計	1,130,809	1,144,166
無形固定資産		
ソフトウェア	7,730	8,006
リース資産	33,980	21,237
電話加入権	1,558	1,558
無形固定資産合計	43,269	30,802
投資その他の資産		
出資金	80	80
長期前払費用	21,050	40,755
繰延税金資産	—	114,391
保険積立金	194,311	233,847
差入保証金	1,014,798	1,036,955
その他	30,000	50,000
投資その他の資産合計	1,260,240	1,476,030
固定資産合計	2,434,319	2,651,000
資産合計	7,376,793	6,931,732

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当事業年度 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	204,235	254,664
短期借入金	705,000	52,680
1年内返済予定の長期借入金	274,200	274,200
リース債務	31,950	26,912
未払金	146,299	172,033
未払費用	241,166	281,756
契約負債	89,153	117,800
未払法人税等	29,597	29,597
未払消費税等	283,276	171,148
賞与引当金	80,886	191,570
その他	27,555	69,055
流動負債合計	2,113,320	1,641,419
固定負債		
長期借入金	2,423,850	2,149,650
リース債務	30,773	31,375
長期前受収益	57	35,202
長期末払金	30,816	10,125
繰延税金負債	2,901	—
資産除去債務	528,933	547,209
固定負債合計	3,017,332	2,773,564
負債合計	5,130,652	4,414,983
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金		
資本準備金	100,000	100,000
その他資本剰余金	1,627,158	1,627,158
資本剰余金合計	1,727,158	1,727,158
利益剰余金		
利益準備金	8,162	8,162
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	684,371	954,999
利益剰余金合計	692,533	963,161
自己株式	△273,550	△273,570
株主資本合計	2,246,140	2,516,748
純資産合計	2,246,140	2,516,748
負債純資産合計	7,376,793	6,931,732

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
売上高	7,550,814	9,780,764
売上原価		
原材料期首棚卸高	43,215	58,043
当期原材料仕入高	2,275,064	2,906,143
合計	2,318,279	2,964,187
他勘定振替高	12,970	17,607
原材料期末棚卸高	58,043	66,782
売上原価合計	2,247,265	2,879,797
売上総利益	5,303,548	6,900,966
その他の営業収入	57,565	74,247
営業総利益	5,361,114	6,975,214
販売費及び一般管理費		
販売促進費	102,737	123,730
消耗品費	106,919	139,678
役員報酬	87,474	89,934
給与手当	2,491,719	2,802,702
賞与引当金繰入額	80,886	191,570
退職給付費用	12,912	11,095
法定福利費	275,282	337,722
福利厚生費	124,132	146,428
水道光熱費	336,124	342,764
地代家賃	1,354,403	1,447,557
減価償却費	237,636	222,764
その他	692,805	842,263
販売費及び一般管理費合計	5,903,032	6,698,211
営業利益又は営業損失(△)	△541,917	277,002
営業外収益		
受取利息	49	42
助成金収入	2,500	—
雑収入	12,326	7,648
営業外収益合計	14,875	7,691
営業外費用		
支払利息	33,572	29,301
支払手数料	1,083	—
営業外費用合計	34,655	29,301
経常利益又は経常損失(△)	△561,698	255,392
特別利益		
雇用調整助成金	59,494	—
助成金収入	291,214	—
特別利益合計	350,708	—
特別損失		
固定資産除却損	2,240	161
減損損失	31,125	72,032
店舗閉鎖損失	8,582	1,881
臨時休業による損失	95,662	—
特別損失合計	137,611	74,075
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△348,600	181,316
法人税、住民税及び事業税	23,915	27,981
法人税等調整額	△88,810	△117,292
法人税等合計	△64,894	△89,311
当期純利益又は当期純損失(△)	△283,706	270,628

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	100,000	100,000	1,627,158	1,727,158	8,162	1,011,915	1,020,077
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	—	—	△43,837	△43,837
会計方針の変更を反映した当期首残高	100,000	100,000	1,627,158	1,727,158	8,162	968,077	976,239
当期変動額							
当期純損失(△)	—	—	—	—	—	△283,706	△283,706
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△283,706	△283,706
当期末残高	100,000	100,000	1,627,158	1,727,158	8,162	684,371	692,533

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△273,550	2,573,684	2,573,684
会計方針の変更による累積的影響額	—	△43,837	△43,837
会計方針の変更を反映した当期首残高	△273,550	2,529,846	2,529,846
当期変動額			
当期純損失(△)	—	△283,706	△283,706
当期変動額合計	—	△283,706	△283,706
当期末残高	△273,550	2,246,140	2,246,140

当事業年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	100,000	100,000	1,627,158	1,727,158	8,162	684,371	692,533
当期変動額							
当期純利益	—	—	—	—	—	270,628	270,628
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	—	—	—	270,628	270,628
当期末残高	100,000	100,000	1,627,158	1,727,158	8,162	954,999	963,161

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△273,550	2,246,140	2,246,140
当期変動額			
当期純利益	—	270,628	270,628
自己株式の取得	△19	△19	△19
当期変動額合計	△19	270,608	270,608
当期末残高	△273,570	2,516,748	2,516,748

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△348,600	181,316
減価償却費	242,705	222,764
受取利息	△49	△42
支払利息	33,572	29,301
雇用調整助成金	△59,494	—
助成金収入	△291,214	—
固定資産除却損	2,240	161
減損損失	31,125	72,032
店舗閉鎖損失	8,582	1,881
売上債権の増減額 (△は増加)	△89,138	△70,824
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,721	△4,519
仕入債務の増減額 (△は減少)	148,190	50,429
未払金の増減額 (△は減少)	7,936	19,178
未払費用の増減額 (△は減少)	35,431	40,535
契約負債の増減額 (△は減少)	34,595	28,647
賞与引当金の増減額 (△は減少)	21,388	110,684
長期前受収益の増減額 (△は減少)	△1,382	35,145
その他	260,637	△97,795
小計	34,806	618,896
利息の受取額	49	42
利息の支払額	△32,978	△29,011
雇用調整助成金の受取額	170,792	—
助成金の受取額	494,621	—
法人税等の支払額	△25,304	△27,981
営業活動によるキャッシュ・フロー	641,986	561,946
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△29,776	△209,272
無形固定資産の取得による支出	△3,515	△4,860
資産除去債務の履行による支出	—	△10,150
差入保証金の回収による収入	7,212	9,514
差入保証金の差入による支出	△5,102	△34,927
長期前払費用の取得による支出	△19,894	△40,838
保険積立金の積立による支出	△38,500	△38,500
その他の収入	4,090	62
その他の支出	△16,000	△20,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101,485	△348,973
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,543,000	79,000
短期借入金の返済による支出	△1,638,000	△731,320
長期借入金の返済による支出	△263,900	△274,200
リース債務の返済による支出	△36,994	△34,735
割賦債務の返済による支出	△20,691	△20,691
自己株式の取得による支出	—	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△416,585	△981,966
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	123,916	△768,993
現金及び現金同等物の期首残高	4,405,317	4,529,233
現金及び現金同等物の期末残高	4,529,233	3,760,239

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社は、英国風PUB事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

関連会社がないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
1株当たり純資産額	178.58円	200.09円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△22.56円	21.52円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2023年2月28日)	当事業年度 (2024年2月29日)
貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	2,246,140	2,516,748
普通株式に係る純資産額(千円)	2,246,140	2,516,748
普通株式の発行済株式数(株)	12,830,200	12,830,200
普通株式の自己株式数(株)	252,260	252,282
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(株)	12,577,940	12,577,918

3 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)		
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△283,706	270,628
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は 当期純損失(△)(千円)	△283,706	270,628
普通株式の期中平均株式数(株)	12,577,940	12,577,928

(重要な後発事象)

該当事項はありません。